

# 平成28年度学校評価概要

### 学校評議員会ならびに 学校関係者評価委員会

平成 29 年 2 月 7 日実施

#### ◎成果を認める主な事項

- ・夢ダイアリーを活用することで、確実に生徒の生活習慣の改善が図られていると実感している。生徒の活動を認め励ますコメントを書いている教師の負担感はあるが、成果は大きいと考える。生徒自身が、自己の生活習慣を振り返る力を付けることがねらいである。保護者のコメントも生徒の励みになっている。今後、生徒の自己管理能力の伸長を図ることで、生徒に任せる取組にしていけると考える。

#### ◎今後の課題となる主な内容

- ・地域に塾がなく、塾に通っている生徒が少ないということだが、そのような中では、学習サポート等の取組は大変ありがたい。今年は、放課後自習教室ブリッジの時間を50分に延長して生徒にも好評のようだ。これだけの生徒の声があるのだから、先生方には負担をかけるが、続けてほしい。
- ・合唱コンクールの賞の付け方について、一生懸命取り組んできた分、生徒の白黒付けてほしいという気持ちも分かる。このままでいくなれば、担任から生徒へしっかりと説明していく必要がある。

### 生徒アンケート

平成 28 年 12 月全校生徒を対象に実施

※設問に [A 充実 B ほぼ充実 C やや不足 D 不足] の 4 段階で回答

#### ◎成果が見られる主な項目

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
|                           | A・Bの合計 |
| ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う | 99%    |
| ・学校では集団や社会のルールを学ぶことができる   | 98%    |
| ・頭髪や服装など学校生活のきまりを守っている    | 97%    |
| ・先生は質問やわからないところを丁寧に教えてくれる | 95%    |
| ・先生は学習で努力したことを認めてくれる      | 93%    |
| ・思いやりの心をもって協力して物事に取り組んでいる | 93%    |

#### ◎今後の課題となる主な項目

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| ・家で学校の予習や復習をしている        | 74% |
| ・テストの結果や通知表の成績は自分で納得できる | 74% |
| ・将来の夢や目標をもっている          | 72% |

#### 主な記述反省・要望

- ・授業中に先生が2人いる時、すぐに教えてもらうことができ助かった。
- ・学習課題が提示されるようになって、どこを身に付ければ、よくわかってありがたかった。
- ・自分の意見に自信をもち、もっと積極的に発言したい。
- ・明るいあいさつや規則正しい生活に心がけたい。
- ・将来の夢や目標を見つけ、それに向かってがんばりたい。
- ・ゲームやインターネットをする時間を減らし家庭での時間の使い方を工夫したい。

### 教職員自己評価

平成 28 年 12 月全教員を対象に実施

#### 主な評価項目と自己評価（成果と課題）

#### ○重点目標

- ・学ぶ喜びを実感させ、学習意欲の向上を図る教育活動の充実を図り、確かな学力の向上に努めている。
  - ・自尊感情の高揚を図るとともに、自己の将来を展望し、実現に向けて意欲的に学び、努力しようとする姿勢の育成に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
重点目標「自己の将来を見つめ、主体的に学び、自ら考え行動できる生徒の育成」に向けて、キャリア教育の視点から授業改善を進めた。

#### ○生徒指導

- ・学校全体の秩序と安定を図るため、すき間のない指導体制と情報連携、行動連携に努めている。
  - ・共感的理解を基盤にした心のふれあいを大切にし、自己をよりよく導く力をはぐくむ指導の充実に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
休み時間や放課後など、生徒と教師がふれあう機会を重視し、「すき間のない生徒指導」を進めた。生徒指導上の課題に学年・指導部を中心とした組織的な対応を進めた。

#### ○学習指導

- ・生徒の実態に即して、TT指導や少人数指導、補充学習などによる個に応じたきめ細かい指導の充実に努めている。
  - ・確かな学力を育成するため、問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、生徒に「わかる」「できる」を実感させる指導の充実に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
数学・英語科における習熟度別指導・TT指導、学習課題の明確化や思考過程を振り返ることができる板書の工夫など、全教科において「わかる」「できる」喜びを実感させる指導を工夫した。

#### ○道徳指導

- ・道徳の時間を要として、ボランティア活動や豊かな体験活動に積極的に取り組み、道徳実践力を高める指導に努めている。
  - ・道徳推進教師を中心とした指導体制の充実とともに、学習形態の工夫・改善に努め、心に響く道徳の時間の実践に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
道徳性検査に基づく重点項目の明確化や、教育大教授による講話、学年を中心とした研究授業など、道徳教育推進教師を中心に、「特別の教科 道徳」について研修を深め、実践を進めた。

#### ○特別活動

- ・個と集団との関わりを学ばせ、望ましい集団の育成に努めるとともに、集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする実践的態度を育成している。
  - ・リーダーの育成や話し合い活動の充実を図り、自主性や創造性をはぐくむとともに、個性の伸長を図る集団活動の充実に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
縦割り活動を主としたリーダー・フォロワーシップの育成に努めた。また、規律正しい集会活動を通して、規範意識や協働の大切さを実感させることができた。

### 保護者アンケート

行事終了ごとにアンケート形式で実施

#### ◎成果を認める主な内容

- 校内陸上
- ・競技への取り組む姿勢、生徒同士の応援する姿がすばらしかった。
  - ・クラスの団結力、仲のよさ、協調性、ルールを守るといことなど、先生方のおかげでまとまっているんだなあと見ていて安心するとともに感謝です。
- 参観日
- ・どの生徒も楽しそうに笑顔で授業に取り組んでいたのが印象的。
  - ・茶話会では普段話さない保護者の方と話が弾み楽しかった。
  - ・担任の先生からも我が子の話が聞くことができよかったです。
- 2年宿泊研修
- ・台風の影響でラフティングが中止になり残念でしたが、とても楽しく集団生活をし、クラスの交流がはかれたようです。
  - ・子どもが宿泊研修を通じて「協力する」楽しさを体験できたと話してくれました。
  - ・宿泊研修を通じて、友達の意外な一面が見られ、一晩一緒に過ごしたことで一回り友情の輪が広がったようです。
- 3年修学旅行
- ・天候にも恵まれ最高の修学旅行になったようです。
  - ・旭川にはない函館の街並みや自主研修での友達との協力やふれあいなど、思い出に残る旅行だったようです。
  - ・「ミュージカルがおもしろかったんだよ！」と興奮気味に言っていたのが印象的でした。
- 明星祭
- ・1年生から3年生まで聞くと、学年が上がるにつれてだんだんと上手になっているのがわかりました。
  - ・どのクラスもその発表を聞けば、クラスみんなが相当な苦勞を乗り越えて心をついにしてきたのであろうと想像できました。
  - ・とても聴き応えがあり、特に全校合唱はとても心に響いてきました。

## H29年度に向けた 改善の方策

#### ○社会と関わり合える教育活動の充実

- ・生徒が自らの体験に基づき、議論したり、考えたりする道徳の授業づくり
- ・他者と協働して課題を解決する学習を重視し、生徒一人一人が主体的に取り組む総合的な学習の時間の充実
- ・各学年における発達段階に応じた上級学校訪問や職場体験、職業講話などの充実
- ・地域の一員としての自覚を高める体験活動、奉仕活動などの交流機会の充実

#### ○「わかる」「できる」を実感させる授業づくり

- ・学習課題の明確化、振り返り活動の充実など、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的な深い学び）の視点からの日常的な授業改善の推進
- ・数学科、英語科におけるTT指導、少人数指導の一層の充実

#### ○基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の確立

- ・「明星夢DIARY」による自己の生活の見直しや先を見通した計画的な学習の取組の促進、家庭との連携
- ・「明星中学校区小中連携教育推進会議」等による義務教育の9年間を見通した、生活習慣・学習習慣づくりの推進